



福岡県立筑紫中央高等学校同窓会機関誌 発行人 村田安幸 事務局 大野城市中央1丁目3-18



同窓会だとついこんな顔になるんです

“先輩シブーイ!!” “もっと若い時に言えよ”
“ウフフ!!学校でのことバラすわよ”

平成14年度 福岡県立筑紫中央高等学校同窓会総会

なつかしい あなたに 会えるかも!!

■ 日 時 平成14年6月16日(日) 11:00~
■ 会 場 のがみプレジデントホール “筑紫”

■ 当 番 高34回生(昭和57年卒)
■ サ ブ 高19回生(昭和42年卒)



あいさつする村田会長

約600人を集めて 平成13年度の総会を開催

平成13年度 同窓会予算

○収入の部

費目	平成13年度	平成12年度	比較	備考
前年度繰越	1,096,252	1,096,195	57	
全日制会費	7,500,000	7,500,000	0	@500×1,250人×12月
全日制入会金	1,320,000	0	1,320,000	@3,000×440人(今年度から)
定時制会費	342,000	306,000	36,000	@300×95人×12月
定時制入会金	120,000	0	120,000	@3,000×40人(今年度から)
繰越金	10,000,000	0	10,000,000	積立金からの繰越
諸収入	10,000	10,000	0	利息等
計	20,388,252	8,912,195	11,476,057	

○支出の部

費目	平成13年度	平成12年度	比較	備考
事務費	200,000	200,000	0	事務用品・消耗品
会議費	500,000	600,000	▲100,000	理事会等諸経費
旅費	600,000	600,000	0	理事会・東京支部等出席旅費
涉外費	200,000	200,000	0	交際・涉外費
慶弔謝恩費	100,000	200,000	▲100,000	会員、学校慶弔関係費
通信費	100,000	100,000	0	理事会案内通信費
事業費	1,700,000	1,500,000	200,000	総会費、支部活動費、広告費
人件費	180,000	180,000	0	事務員賃金
補助金	3,000,000	3,000,000	0	財筑紫中央協会への運営補助、部活動指導手当等補助
積立金	3,500,000	2,000,000	1,500,000	積立金会計への繰り出し (今年度からの入会金を含む)
出資金	10,000,000	0	10,000,000	財筑紫中央協会の基本財産への増資
予備費	308,252	332,195	▲23,943	
計	20,388,252	8,912,195	11,476,057	

- 2 (1) 財筑紫中央協会「みかさ会館」の管理運営
学校及び地域社会への開放
生徒の学習、宿泊訓練及び部活動の合宿所として提供し、教職員及び地域住民の研修会議場、福利厚生施設として開放する。
- (2) 施設設備の整備、空調機の整備。

平成13年度総会が、
6月17日(日)「のがみ
プレジデントホール」
で、開催されました。

当番幹事は高33回生
(昭和56年卒)サブ幹事
は高18回生(昭和41年
卒)でした。

出席者は年々増加の
一途をたどり、600
人をはるかに超え、広
い会場も会員で埋まり
ました。

従来、総会議事に要
する時間を資料配付に
より少なくし、その時
間を懇親会に振り替え
てきました。

出席者は年々増加の
一途をたどり、600
人をはるかに超え、広
い会場も会員で埋まり
ました。

出席者は年々増加の
一途をたどり、600
人をはるかに超え、広
い会場も会員で埋まり
ました。

従来、総会議事に要
する時間を資料配付に
より少なくし、その時
間を懇親会に振り替え
てきました。

田中先生は、母校に
永く勤務(校長も勤め
られました)し、発
展に尽力されました。
今年の総会にも、母
校の吹奏楽部が駆けつ
けてくれ、その演奏に
合わせて600人余の
校歌が会場を轟かせま
した。

間を懇親会に振り替え
てきました。

出席されましたが、當
番幹事の恩師である田
中義明先生も出席いた
だき、懇親会が一層盛
り上りました。

田中先生は、母校に
永く勤務(校長も勤め
られました)し、発
展に尽力されました。
今年の総会にも、母
校の吹奏楽部が駆けつ
けてくれ、その演奏に
合わせて600人余の
校歌が会場を轟かせま
した。

- 1、支部活動助成(継続)
2、財筑紫中央協会への援助(継続)↓下記参照
3、財筑紫中央協会の基本財産への増資(1千万円)
4、つくしの(同窓会新聞)の発行(継続・第31号)
5、在校生への部活動等援助
6、同窓会入会式の開催

- 1 平成13年度財團法人筑紫中央協会事業計画
1 築紫中央高等学校の教育活動に対する援助
(1) 就学奨励費の支給
向学心に富み学資の支弁が困難な者、各
学年それぞれ4名に対して月額九千円を支
給する。

- 2 特別学習指導費に係わる援助
「元日模試」など生徒に対する特別補講
手当等として、経費を援助する。

- 3 特別生活指導費に係わる援助
校外における生活指導、及び卒業時の皆
勤者、並びに部活動の功労者の表彰に対し
て援助する。

- 4 部活動に対する援助
部活動の振興を図るため、用具等購入費
金並びに部活動指導手当を援助する。

- 5 定時制教育振興の援助
定時制課程の教育振興を図るため、生徒
の給食費負担軽減及び部活動指導等に対し
援助する。

平成13年度 事業計画



太宰府支部も総会 吹奏楽部が駆けつける

平成12年10月29日、太宰府天満宮余香殿に於いて、太宰府支部の（村上弘支部長）総会が開かれました。

当支部では、今年度から総会の開催を2年に1回と改められ、今年は、記念すべきリニューアルの第1回総会です。

当日は、母校の加地学校長が出席され、筑紫野市や春日市在住の会員も駆け付け、出席者は100余名を数え、盛会な総会でした。また、母校吹奏楽部の演奏が総会に、花を添えました。

**あなたの街の
イベントにも
出前します**

吹奏楽部OB 楽団

吹奏楽部OB会も、がんばっています。

以前、母校で奉職し、吹奏楽部の指導をされていた一瀬先生（30回生・昭和53年卒）を中心に、在学中に吹奏楽部に所属していた人々でOB会の楽団が組織され、みかさ会館などで練習されています。

あなたの街のイベント等を盛り上げたいときは、声をかけてくださいね、馳せ参じるそうです。

皆さん！他の高校はどうしているか調べて、何が良い智恵があつたら教えてください。

平成12年9月10日横浜市「崎陽軒」において、東京支部（岡部文雄支部長）総会が開かれました。

今年度の幹事役は7回生（昭和30年卒）です。当日は、都内はもとより、近郊の千葉・埼玉等からも会員が集まり、160人余を数えました。

卒業年度毎の幹事輪番制は、（写真）が作られ、会場に展示されました。

今年度、新しく東京支部の旗長、鬼塚事務局長、母校からは山本芳昭総括教頭に参加しても川実さん（高4回生。昭和27年卒）が作られ、会場に展示されました。

第一回総会は、昭和36年4月、修学旅行の引率で上京していた藤幸人・福田・勝原各先生、学校から藤智恵・帆足各先生、同窓会から品川進（高4回生・昭和27年卒）理事が出席して、東京上野で開催されました。その

同窓会支部の活性化につながっていると思います。

同窓会からは藤先生、村田会長、鬼塚事務局長、母校からは山本芳昭総括教頭に参加しても川実さん（高4回生。昭和27年卒）が作られ、会場に展示されました。

卒業式（現春日市在）と権藤蔚さん（高4回生。昭和27年卒）現福岡市在により、在京同窓会の名簿作りから始められました。学校の窓口は、藤智恵・福島恒春先生が務められました。

第一回総会は、昭和36年4月、修学旅行の引率で上京していた藤幸人・福田・勝原各先生、学校から藤智恵・帆足各先生、同窓会から品川進（高4回生・昭和27年卒）理事が出席して、東京上野で開催されました。その



同窓会 東京支部

東京支部が四十周年

総会で支部の旗が披露される

後の総会は、修学旅行で上京したときに開催されました。

初代の支部長は田中（旧姓迫

田）喜美子さん（高女17回生）、

2代目が城川さん、3代目が原

田清雄さん（高5回生昭和28年卒）そして4代目が現在の岡部文雄さん（高5回生昭和28年卒）です。

田清雄さんは田中（旧姓迫

田）喜美子さん（高女17回生）、

2代目が城川さん、3代目が原

田清雄さん（高5回生昭和28年卒）そして4代目が現在の岡部文雄さん（高5回生昭和28年卒）です。

総会会場を「のがみプレジデントホール筑紫」に定めて、相当経ちました。

「交通の便利が悪い」「総会後に二次会をしようと思うけど、近くに良い場所がない」などの声が聞えてきました。

そこで、理事会では、会場について意見交換をしました。

現会場の最大のメリットは、「のがみプレジデントホール」の特別の配慮のおかげで、費用が安いことです。例えば、福岡のホテルで開催すれば、最低一人8千円はかかり、チケット販売の負担が大きくなります。結局、議論はしたもののが、良い智恵が浮かばないので、とりあえず今のまま行くことにになりました。

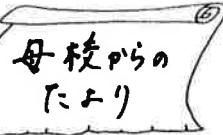
総会会場は？

良い智恵があつたら



部名	部員数	活動内容・目標等	13年度の顕著な実績			平成12年度 全国大会 全国大会 県大会
			13年度の顕著な実績	平成12年度 全国大会 全国大会 県大会		
美術部	19	文化祭・高文連の大会への出展				
書道部	9	文化祭・高文連の大会への出展		○		
演芸部	2	文化祭・高文連の大会への出展		!		
文芸部	7	小説・詩集等の製作		!		
クッキング部	15	調理技術の習得				
科学部	4	実験、調査、飼育				
写真部	15	写真技術の向上・各方面への出品		○		
映画研究部	2	映画鑑賞・文化祭での映画上映				
放送部	13	学校行事等の補助・大会への参加				
茶道部	10	茶道の習得・文化祭等への参加				
手芸部	3	制作				
吹奏楽部	87	学校行事の補助・大会への参加		○		
英語研究部	10	英語の研究				
漫画研究同好会	14	文化祭への出展等				
ボランティア同好会	11	ボランティア活動をとおして視野を広げる				
新聞同好会	0					
柔道部	8	練習、自己鍛錬				
剣道部	26	礼儀作法の向上・人間形成の向上				
陸上部	7	県大会出場		○		
新体操部	4	試合、学校行事に向けて				
水泳部	28	自己ベスト更新	春季九州大会(未広)出場 全国総体 県大会出場	○ ○ ○		
水泳(シンクロナイズスイミング)				○		
野球部	53	自己鍛錬・甲子園優勝			△	
ソフトボール部	9	基礎練習中心・大会への参加				
ソフトテニス部(男)	20	県大会出場				
ソフトテニス部(女)	36	基礎からゲームまで	全国総体 県大会出場	○ ○		
卓球部(男)	8	基礎練習中心・大会への参加	九州大会 県大会出場			
卓球部(女)	9	基礎練習中心・大会への参加	九州大会 県大会出場 全国総体 県大会出場		○	
バレーボール部(男)	13	県大会出場				
バレーボール部(女)	33	「夢を見て、夢を追い、夢を食う」目標:日本一	九州大会 中部支部ベスト8		○	
バスケットボール部(男)	24	心身鍛錬・県大会出場				
バスケットボール部(女)	22	県大会出場			△	
ハンドボール部(男)	12	運動能力の向上・県大会出場				
ハンドボール部(女)	9	県大会出場				
ラグビー部	18	大会での優勝				
サッカー部	35	県大会出場				
弓道部	43	自己鍛錬(集中力・精神力をつける)	九州大会 県大会出場 全国総体 県大会出場		○	
バトミントン部	34	日々の練習を通して、自己を見つめ、生きる力を育む			○	
ダンス部	27	文化祭への参加				
空手部	2	精神鍛錬、技術の向上				
バトン同好会	0	文化祭への参加				

13年度は6月18日現在



人間性豊かで 主体的に学ぶ生徒を 勉学に部活に成果を上げる

母校では、
き抜く力を持ち、人間性豊かで、主体的に学ぶ生徒の育成が進められています。

そのため、「学校自己評価表」が作られ、学校運営や教育活動の改善と充実、教職員の資質や能力の向上のために活用するとともに、結果等について保護者などにも公開するというものです。

定時制では、それぞれの仕事を終えた午後5時45分まで、最高齢者52歳を筆頭に勉学に励んでいます。

パソコンの授業が6単位あり、全員、「二太郎」と「エクセル」の基本をマスターしています。



▲アメリカ人教師による授業

ターゲットとして卒業するそうです。
現在の生徒数は、下表のとおりです。

後輩たちの進路状況は下

表のとおりで、左の表でも
においても、学業同様、しっかりと頑張っています。

=定時制生徒数=

区分	計	男子	女子
1年生	41	24	17
2年生	39	24	15
3年生	22	15	7
4年生	17	14	3
計	117	77	42

=全日制生徒数=

区分	計	男子	女子
1年生	444	161	283
2年生	437	176	261
3年生	434	148	281
計	1,315	485	830

平成13年卒業生の進路状況

区分	国公立大	私立大	短大	専門	就職	予備校等	合計
男子	16	84	1	10	4	36	151
女子	4	132	34	80	3	27	280
計	20	216	35	90	7	63	431

主要国公立大合格校: 大阪外大・九州大・九州工大・九州芸工大・広島大・福岡女子大・福岡県立大・佐賀大・宮崎大等

主要私立合格校: 立教大・法政大・学習院大・日本大・東京女大・日本女大・立命館大・久留米大・中村学園大・九産大等

『つくしの』第29号の「あの
人この人訪問記⑧」で紹介した
前田淑さん（女高20回生、昭和
13年卒）が、「近世福岡地区女
流文芸集」を草書房から出版さ
れました。

この「近世福岡地区女流文芸
集」は、江戸時代の文芸作品の発
掘、翻刻されてきた資料編の一
つで、福岡関係の旅日記が四編
と歌集が二編収められています。
特に、幕末の勤皇歌人として
活躍した野村望東尼が四十歳代
に著した「木葉日記」が収録さ
れています。

野村望東尼は、著書もある
前同窓会会長として活躍
された武石雅彦氏（4回生、
昭和27年卒）が、平成13年
4月17日に逝去されました。
謹んで、ご冥福をお祈り
します。

ご冥福を
お祈りします
武石前会長逝く



▲ 第1回東京支部同窓会総会の記念写真。

若き藤幸人先生、福田先生、勝原先生、藤(智)先生も
写っています。どの人が誰かわかりますか？

セピア色の記念写真

なつかしいものを見つけました

▼ 写真のウラに「昭和18年1月6日 筑紫高女職員一
同宿泊訓練第3日」とありました。後の建物は当時の
校舎？（ご存知の方は、お知らせを。）



『つくしの』第29号の「あの
人この人訪問記⑧」で紹介した
前田淑さん（女高20回生、昭和
13年卒）が、「近世福岡地区女
流文芸集」を草書房から出版さ
れました。

とおり、勤皇歌人で高杉晋作を
匿ったことでも有名ですが、福
岡市浄水通りにある平尾山荘に
住まつたこともあって、福岡の
人々にも親しまれました。山口
県防府市にある望東尼のお墓に
は、今も近所の婦人の方々に

おり、朝日新聞平成13年3月27日朝刊
の『人物往来』で、前田さんと
同著書が詳しく紹介されています。
前田さんは、平成11年3月
に文学博士号を取得され、現在、
福岡女学院短期大学名誉教授を
されています。

53期の同窓会入会式

平成13年2月28日、母校講堂
で、平成12年度（53期）卒業生
の同窓会入会式が開かれ、たの
もしい後輩会員が誕生しました。
村田同窓会会長から、活躍を期
待される各クラス同窓会幹事が
委嘱され、鬼塚事務局長が同窓
会事業の紹介をしました。



よって花が手向け
られ、清掃が続け
られています。

クラス毎の
幹事を委嘱